

みなさんのなかで

2022
(令和4年)
2月1日
No. 58

陶芸教室



南伊勢町議会だより

主な内容

12月定例会	P 2
一般質問	P 4
さかい応援シター	P13
委員会活動報告	P14
みんなで作って〜ほか	P16

重点事業と注目ポイント

12月7日から9日までの日程で、令和3年第4回南伊勢町議会定例会が開催され、補正予算案7件、条例案3件、教育に関する協議案件1件、工事請負契約変更1件、専決承認案件1件のあわせて13件が提案され、全て原案の通り可決・承認されました。更に選挙管理委員及び補充員選挙を行い、また、各常任委員会に付託されていた令和2年度一般会計歳入歳出決算をはじめ、8件の決算認定について委員長報告が行われました。

一般質問では、8名が質問を行いました。

議案第80号 令和3年度南伊勢町一般会計補正予算（第8号）

日々の生活に欠かせない大切な施設



耐用年数が迫っている中、町民の生活を支えるゴミ処理施設を円滑に運営するため、費用対効果を念頭に、延命処置を目的とした修繕工事を行います。

クリーンセンター
1号炉修繕工事業等
591万円

避難所機能を備えた保育所



保育園造成工事で、南側法面の一部が想定外の地層であったので、コンクリート吹付工からロックボルト工と法枠工の併用工法に変更しました。

統合保育所
建設工事業
3000万円

元 気に羽ばたけ まちの宝！



新型コロナウイルス感染症が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、子育て世帯について、0歳から高校3年生までの子どもたちに1人あたり5万円を支給します。
 （※12月定例会時の専決処分案件であり、その後、国の方針転換から1人あたり10万円支給に変更）

子育て世帯への 臨時交付金事業 4200万円

議案第89号 南伊勢町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

団 員の結束は熱い！



少子高齢化に伴う消防団員の減少を緩和し、消防力の確保のために、身体が壮健で活動参加が可能な人であれば、引き続き在籍できるように体制を改めます。

消防団員の 年齢定年制度を廃止

議案に対する議員の表決状況（賛否の分かれたもの）

政 党	無 所 属										共産党	
	森	舌	倉	河	西	掛	田	岡	東	松	岡	手
議 員 名	源	古	田	村	則	橋	中	本	伊	葉	田	塚
議 案 名 等	久	傳	育	健	孝	靖	喜	眞	久	和	和	征
認定第1号 令和2年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	●	●
認定第2号 令和2年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	●	●

※表決（○＝賛成 ●＝反対 退＝退席 議＝議長）

※政党（無＝無所属、自民党＝自由民主党、共産党＝日本共産党）

※議長は表決に加わらない。

あなたの声を市政に!!

一般質問



議員の Question 行政の Answer

一般質問は、議員が自分自身の考えや町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
岡 本 眞	① 経済・産業の活性化について ② 地方創生について	5
倉 田 育	① 町の声をかたちにするための機構改革について ② 子育て応援日本一のまちの実現について	6
田 中 喜一郎	① 健康寿命を延ばす総合施策・対策、福祉について	7
岡 田 和 夫	① 町の介護を飛躍させる介護老人保健施設の建設を ② 子育てのしやすい町の実現について ③ バイオマスと亜臨界水処理を使ったゴミ処理施設について ④ 「みなみいせ商会」の今後について	8
手 塚 征 男	① 前町長の絆プランをどのように考えているのか ② 一次産業の再生にどう取り組むのか ③ 高齢者が安心して暮らせる町づくりの具体化は	9
掛 橋 靖	① 当町の強みである「海のまち・魚のまち」をどう活かしていくのか ② 親になる若者世代が魅力を感じるまちづくりについて	10
森 源 久	① 学校教育の取組 ② マイナンバーカード ③ 南伊勢町の展望と未来	11
西 則 孝	① 本町の一次産業の立て直しについて	12

一般質問の質問事項・内容は、広報委員会で会議録に基づいて編集し、要約しています。
詳細は議会事務局にお問い合わせください。(TEL 0599-66-1781)

活性化の展開は

町長 持続可能な産業へ

Q

町長は町が輝くために5本の柱を示した。その1つ、経済、産業の活性化の展開をどのように考えているのか。

A

町長 水産業では、関連施設の充実に回り、国、県の事業を活用しながら、藻場の再生、魚礁設置、放流事業により漁場環境を改善する。また、養殖漁業者への支援として、利子補給や養殖共済等の補

助を引き続き行い、事業規模増大の取組を行う。

農林業では、耕作放棄地や獣害対策への取組、農業経営の支援を行い、担い手の確保、育成に取り組む。

また、1次産業の6次化やICT化を進め、新たな農林水産振興策を計画、実行していく。

観光、商工業では、祭り

やイベント等の開催により、ふれあい・交流・賑わいの機会創出を大切にすることで、発展につなげたい。

これらの推進により、安定した経営と所得の確保を実現、持続可能な産業になるよう進める。



岡本 眞 議員



SUN ! 3 ! サンデーふれあい市

地方創生の取組は

町長 財源確保の努力も

Q

この柱の1つには、「地方創生」の取組を加速させたいとあるが、その考えとは。

A

町長 1つ目は、町民が町の強みや魅力を意識し、それを見える化し、前向きにチャレンジしていくことをあきらめない。2つ目は、町内だけ



おいしそうですね～

ではなく町外の人の知恵やノウハウや応援もしっかりと結集して活かしていく。3つ目は、日ごろから、役場の各課横断的に関連施策の構想を磨く努力と、実現に向けて愚直に取り組む。また、ふるさと納税や地方創生関連の交付金等、国の仕組を最大限活用し、財源確保の努力をする。

業務の効率化は

町長 慎重に精査する



倉田 育 議員



高みを目指して

Q

当町の合併から、分庁方式を取り続けているが、業務の効率化を図るため、本庁方式に変更していく、支所・出張所を必要地域に適切に配置すべきではないか。

A

町長 業務の効率化、しっかりと行政サービスを今まで以上に町民の方々へ提供できる環境を整えていく。

町民がどのようなあり方を望むのか、そして中長期的な視点も含めて慎重に精査する必要がある。当面は現在の体制を前提に、より質の高いサービスを提供するために最大限工夫する。

子育て応援は

町長 日本一のまちをめざして



笑顔のために

Q

結婚・妊娠・出産・子育てを切れ目なく地域全体で応援していく、出生率アップ・若者定住といった課題に対し、行政として何から取り組むべきだと考えるのか。

A

町長 役場の各課の垣根を越えて、

全庁的に「子育て応援日本一のまち南伊勢を目指す」というベクトルに向かって、個別の努力を組み合わせていく、という総合的なアプローチが必要であると考えている。子育て世代の希望の実現に向けて切れ目なく支援していく。



田中喜一郎 議員

健康寿命の対策は

町長 関係機関と連携しながら

Q

高齢化が進む当町にとって、「健康寿命」を延ばしていくためには、総合的な施策・対策が必要であると考えているが。

A

町長 当町では、町民健康づくり計画に基づき、健康寿命を延ばすため、運動と栄養・交流を盛り込んだ様々な教室

の運営や認知症に関する事業を行っている。今後も関係機関と連携しながら総合的に取り組んでいきたい。



楽しい♪えるがあ体操

幼少期からの食育は

教育長 家族そろって食事を



仲良くいただきまーす

Q

規則正しい食事をとるためには、幼少期からの食育が必要だと思いが、健全な食生活を実践できる力を育むために、行っている取組は。

A

教育長 規則正しい食事をとるために、幼少期からの食育の必要性として、栄養のバランスを考え、楽しく食事をと

ることや親子のコミュニケーションの場となる食卓など、家族そろって食事をとる機会を多く持つことが大事。また、保育園での経験を通じ、食べ物や食事に関する知識を学び「食」への関心を育むことで、一生を通じて健康的な食生活を送れるよう食育に取り組んでいく。

子育てのしやすい町は

町長 強い地域の絆



岡田 和夫 議員



大きくなあれ

Q

子育てのしやすい町の実現をと、述べているが、若者の結婚支援にもっと力を入れるべきではないか。男女ともに結婚し、子供を産み育てられる対策は。

A

町長 役場の担当職員や保育園や小中学校の先生たちや、地域で子供のために活動してくれている人たちが持つてくる情熱は、非常に素晴らしい。自然豊かで、人情味があふれ、地域の絆が強く、地域全体で子供や子育て世代を応援する雰囲気があり、子育てにはうってつけの町であると自負もある。

Q

当町の産業活性化を目的に「みなみいせ商会」を立ち上げたが、今後の対処は。

A

町長 五ヶ所浦に、「みなみいせ商会」が運営する伊勢志摩まぐろ食堂がオープンした。町内外から、多くの皆さんが来店されている。水産物を含めた町産品の強みや魅力を町内外にPRする。多様な人との交流の接点を作ることが産業の活性化や地域雇用の創出につながると考える。

みなみいせ商会の今後は

町長 まぐろ食堂オープン



毎日大盛況



手塚 征男 議員

再生の道筋は

町長 応援していく

Q

一次産業を稼げる産業へ、子供たち継がせたいと思う産業へと立て直しを図るといわれたが、一次産業の現状と再生の道筋はどのように考えているのか。

A

町長 一次産業の現場においては、各経営主体、それぞれが、あるいは漁協や農協などの関係団体も含めて、本当に血のにじむような努力をされ、懸命にこの地域での生産活動にご尽力をいただいている。

このような実際の生産者、事業者、関係団体の皆さんの生の声や思いをしつかりと受け止めて、町として後押しし、応援していくというのが一次産業の再生への取組の第一歩であると考えている。



力を合わせて

Q

高齢化が進む中、一人暮らしの人が増えているが、一番苦労されているのは、食事のことではないか。どういう対策を考えているか。

A

町長 高齢者が地域において、元気に笑顔で暮らしていくには、食事により栄養を十分に

食事の対策は

町長

必要なサービスの構築を

れていることが最も重要であると考えている。そのためには、栄養の不足や偏りのおそれのある一人暮らし等の方に対して、栄養改善を目的とした生活支援サービスを実施するなど、今何が早急に必要で、将来的に何を構築する必要があるかを考えて、進めていく。



こ かい
し しょく
よ り 皆 食

経済・産業の活性化は

町長 思い、やる気を、応援



掛橋 靖 議員



水産業の振興を

Q 経済・産業の活性化を図るには、基

幹産業である水産業の再生と充実が重要であると考え
るが、課題が多い中、これ
からどのような手段で実践
していくのか。

A

町長 漁業従事者、
事業者、関係団体
の皆さんの生の声や思いを
しっかりと受け止めて、皆

さんの「頑張りたい」、「勝
負したい」、「稼ぎたい」と
いう思い、やる気を全体と
して後押しし、応援してい
くというのが町の役割であ
り、水産業再生への第一歩
であると考えて。特に個々
の事業者の自助努力だけで
はなかなか対応が難しいよ
うな領域を国や県などとも
連携しながら積極的に取り
組んでいく。

ライフデザインの実現は **町長** しっかり連携しながら



一緒に子育て

Q

若者世代や子育て
世代が、描く結婚
から子育てに関するライフ
デザインの実現に向けて、
今必要な環境整備や生活支
援をどう考え、どう実践し
ていくのか。

A

町長 子育て応援
日本一のまち南伊
勢の実現に向けて、結婚、
妊娠、出産、子育てを希望

する若者・子育て世代が、
それぞれの段階で抱える悩
みや課題に寄り添い、希望
の実現に向けて切れ目なく
支援していくという基本認
識にたつて、県や国の関連
施策ともしっかり連携しな
がら、安全で安心な住まい
対策や経済対策、子育て・
教育環境の整備等総合的に
取り組んでいく。



森 源久 議員

デジタル教育の考えは

教育長 学習効果があがるように

Q

コロナ禍のために前倒して整備されることになったタブレット端末等の情報機器は、十分に活用されたのか。今後のさらなるデジタル教育をどのように考えているのか。

A

教育長 教職員が

GIGAスクールに向けた研修会へ積極的に参加し、新年度からしっかりと活用ができるように進めてきたので、問題なく実施できている。しかし、様々な学習活動を進める中で、校外授業や教室外での活用等の要望もあり、課題

となっている。

今後、普段の授業や遠隔授業での活用、更には、家庭学習での活用について交流を深め、児童生徒一人一人がタブレット端末を活用し主体的に学習に取り組む、学習効果が上がるよう有効的なデジタル教育を推進していく。



1人1台PCの時代に

マイナンバーカードは 町長 メリットがある

Q

国が普及させようとしているマイナンバーカード。令和3年11月19日に第二弾の施策が閣議決定され、最大二万円分のポイントを受け取ることができるようになるようだ。町、または、住民にとって、本当に必要なものなのか。町としてどのように普及させようとしているのか。

A

町長 マイナンバー

カードは身分証明書としての活用もされ、行政サービスの効率的な提供という意味でも、また町民にとってもそれぞれメリットがあると考えられる。今後のデジタル社会の中で、更に様々なサービスが広がっていく可能性もあることから、国が示している方向性を踏まえて、町としても普及啓発の役割を果たしていく必要がある。



役場でも申請できます

衰退の要因は

町長 需要と供給の崩れやすさ



西 則 孝 議員



生活基盤を支える重要な産業

Q 一次産業の立て直しについて。当町の一次産業の衰退の要因は。

A **町長** まず第一に需要と供給の崩れやすさがあると考え。自然の影響を受けやすい一次産業においては、県下一の

水揚げを誇る町、県下有数の柑橘産地であっても、不漁・不作等により供給量が不安定になってしまう。昨今のようなコロナ禍では、食材の産地である当町への影響も少なくない。また、生産物の価格低迷や後継者不足などの要因がある。

町の果たす役割は

町長 調整役になること



ともに汗をかいて

Q 稼げる一次産業への立て直しを図る手法と、当町の果たす役割は。

A **町長** まず、水産関連施設の整備や、樹園地団地の造成を行い、生産物を安定供給させ、関連機関と連携し生産物の普及活動を進め、事業規模を

増大させていく。当町は生産・物流の拠点となることから、それらに伴う国道の整備を進め、経済活動を刺激することにより、一次産業を稼げる産業へ立て直していきたい。一次産業者と、漁協や農協等の関連団体との連携を強め、その調整役となるのが町の一番の役割だと考える。



ぎかい応援レター



ぎかい



80代女性

やっぱりこの地がいい!!

この歳で一人暮らしは寂しいけど、やっぱり生まれ育ったこの土地がいい。友達もまだまだいるし、お父さんの墓もある。

でも普段はいいけど、少し体調が悪い時なんかには手助けしてくれれば、もっと安心して暮らせるのに。そんな仕組みがあればいいのに。

住み良い町に

議員さん。子供は、宝やで、、給付金は賛成ですが、わたしら年金生活者も苦しいんやで、給付金ほしいな～ 平等に、、。

今年の議会議員選挙、頑張ってくださいな。

そして、南伊勢町を住み良い町にしてください。



70代女性



60代女性

優しい対応を

町立病院がきれいになって、ループバスも出してくれているのでありがたい。ただ、患者や家族に対してスタッフが冷たい対応やなっと思うことがある。病院に来る人は不安や心配な気持ちがあるので、忙しい時でも優しい対応をお願いします。

町で出してよ

大学生の子どもを持つ親として、高校生までではなく他県に行っている大学生の娘、息子のために臨時特別交付金を給付してほしいよー。



50代女性

minamiise

あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^) みんなでつぶやきましょう。思ったこと、感じてることを 200 字程度でつぶやいて、ハガキか FAX で送ってくださいね。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 FAX 0599-66-2164

◆ 常任委員会・特別委員会 ◆

～より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています～



◆ 9月22日

調査事項

観光商工課所管

● 令和3年度プレミアム商
品券について

● ふるさと納税寄付金につ
いて

等、調査しました。

活動報告

総務建設常任委員会

町の財政・産業・建設・防災・上下水道・まちづく
りなどについて調査や審査を担当。

◆ 11月10日

調査事項

まちづくり推進課所管

● 今後のごみ処理施設建設
について

等、調査しました。



◆ 9月22日

調査事項

環境生活課所管

● クリーンセンターなんと
うゴミ焼却施設点検報告
について

● 地域公共交通に関わる諸
問題について

等、調査しました。

活動報告

教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・町税・
国民健康保険・介護保険などの調査や審査を担当。

◆ 11月10日

調査事項

環境生活課所管

● 今後のごみ処理施設建設
について

等、調査しました。



◆ 11月11日

調査事項

教育委員会所管

● GIGAスクールについ
て

等、現地視察も行い調査し
ました。

令和2年度決算 委員長報告

各常任委員会に付託された決算審査について審議された結果、賛成多数および全員賛成で認定されました。

▼各常任委員会での主な質疑

まちづくり推進課への質疑

移住コーディネートターの成果はどうか。実際に何人の方が移住してくれたのか。

答弁 移住希望者の情報提供や、主に相談対応を行い、人数としては32名、昨年度、世帯数でいくと25世帯が移住していただいた。

水産農林課への質疑

令和2年度でもアコヤ貝のへい死が続いているなかで何らかの対策の兆しはどうか。

防災安全課への質疑

備品購入費について。避難場所に必要な備えができているか。

建設課への質疑

公営住宅の維持補修の実施について。修繕内容は老朽化に伴うものか。また今後の町営住宅の建築予定は。

答弁 入居者からの依頼により確認し修繕を実施し、主に壁・畳・水回りの修繕が多くなっています。南島地区に町営住宅が少ないため高台等への建築を検討していきます。

教育委員会への質疑

タブレットの導入あたって、学校現場でのとまどいはなかったか。

答弁 半年前から教員の研修を積み重ね、「ロイロノート」の活用により技術面が授業に反映されています。

高齢者支援課への質疑

介護ロボット導入支援補助金について、どのような効果があったか。

答弁 ベッドが取り外し出れて、移乗がスムーズにできる介護ロボットに対して補助を行い、介護職員の方の負担軽減につながったと思います。

環境生活課への質疑

焼却炉施設維持補修工事について、この工事を行ったことで、どれほど利用可能期間が延びたか。

答弁 この工事をしたことで利用期間が延びたというものではなく、修繕しなければクリーンセンターを運営できなくなる箇所の修繕工事となります。

税務住民課への質疑

町民税について、令和2年度はコロナの影響があったか。

答弁 令和2年度は前年中の所得により算出しますので、税額についてはコロナの影響はほとんどありませんでしたが、町税の支払について納付の猶予申請が10件ありました。





みんなでやつとるで～

＊ ＊ 陶芸教室 ＊ ＊

- 東宮のふるさと交流サロン「めっちゃ」で、月1回程度、開催しています。陶芸つるぎ会の林講師のご指導のもと、蕎麦猪口や小鉢、マグカップをはじめ、ランプシェードやひな人形まで、様々な作品を作ってきました。
- 自分だけのオリジナル陶器をみんなで、おしゃべりしながら、楽しく作っています。初心者でも、無理なく参加できますよ。



議会を傍聴しませんか

次回定例議会（予定）

3月
議会

3月3日～3月24日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆さまの傍聴をお待ちしています。

議員	委員	議長	議長
倉田	河村	掛橋	森古
健	傳	源	久
育志	靖	夫	久

議会広報特別委員会

議長 東伊久雄

議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局までご連絡ください。

☎0599(66)1781
FAX0599(66)2164

時の流れが、早いように感じられますが、住民の皆様は、いかがでしょうか。議会広報特別委員会は、第58号で、今現在のメンバーによる編集作業等の役割を終えることになりました。4月17日（日）には、南伊勢町議会議員の選挙が行われます。定数は現在から2減の12となります。今後は、新しいメンバーによる編集等により、「議会だより」は発行されます。これまで、お読みいただきまして、ありがとうございました。お体を大切に、ご自愛ください。



編集後記

